



ほうじん北沢 インタビュー

北沢法人会副会長・給田烏山支部
大雄電設工業株式会社 代表取締役社長
本庄 謙一



社会的なインフラ業務を担う企業のトップが、 コロナ禍における感染対策等を語る。

コロナ禍で法人会事業が実施しにくい状況の中、編集部では繋がりを保ちまた経営のヒントになるべく会員にスポットを当てたインタビューを企画しました。今回、給田に本社のある大雄電設工業株式会社へ伺い、法人会の副会長で、代表取締役社長の本庄謙一さんに、会社の概要、新型コロナウイルスへの対応策、法人会との関わりなどをお聞きしました。

鉄道電気が主力事業。

編集部 まずは貴社の概要をお願いいたします。

本庄 創立は1958年で、60年以上の歴史があります。事業としては鉄道の電気工事が9割、ビルやマンションの電気工事が1割で、鉄道電気が主力事業です。鉄道の電気工事の割合としては、電車が電気を取り入れるための架線、いわゆる電線を張る工事が3分の2くらいで、残り3分の1は駅舎の中の電灯やエレベーターの電源、ホームドアの電源を設置する工事です。

ただし、通信や信号は別のジャンルになりますので、弊社では手掛けていません。お客様としてはJR東日本や関東の私鉄各社になります。売上の半分がJR東日本ですね。

編集部 社員数はどのくらいで、技術者は何人いらっしゃいますか。

本庄 社員は約100名で、現場で工事を担当する技術者が70名強です。鉄道電気工事は、終電が終わって始発が走り出すまでの限られた時間の中での作業になります。実際に作業するのは協力会社の技術者で、弊社は監督業が主な業務です。

編集部 夜間の限られた時間の中で行う工事は、ご苦労も多いのではないのでしょうか。

本庄 技術者は本当に大変です。夜中0時くらいに集合して、工事を終えてほしい4時過ぎに会社に戻ってきますが、昼間も現場の事前調査や鉄道会社との打ち合わせがありますからね。朝2、3時間寝て、昼間に打ち合わせして、出発まで3、4時間寝る。そんなスケジュール。技術者は7時間寝ているから大丈夫と言ってくれますが、そうは言っても大変ですよ。始発に電車が普段どおり動くのは、裏方のそうした大変さがあればこそだと思います。会社として手当は出しているつもりですが、昨今の

働き方改革からすると、経営者としては頭が痛いところです。

作業は何よりも安全第一。

編集部 鉄道電気工事で気をつけていることは何でしょう。
本庄 いちばんは安全です。鉄道電気工事の場合は失敗すると死亡事故に直結します。それだけに、毎月の安全会議でしっかり安全研修を行い、ほかの会社で事故があれば情報共有をして、安全確保に努めています。

鉄道電気工事の3大事故は、「感電・墜落・触車」。感電というのは、通電している1500V以上の高電圧の架線に触れること。電気を止めて工事をしますが、電気が止まる時間を勘違いするとか、通電所を勘違いすることがないように十分気をつけています。墜落は5m近くある架線の高さから落ちること。下は鉄の線路と砂利ですから命を落としかねません。触車は、走行している電車に触れること。JR東日本の場合は、

終電後も貨物列車が走行しますので、工をしている隣の線路を貨物列車が走行することも珍しくありません。現場では安全と

正確を常に心がけています。鉄道会社それぞれにルールもあり、それもきちんと守らなければなりません。線路上で作業する資格についても、定期的に試験があります。常に安全・正確な作業が行える、それが弊社の大きな強みです。

協力会社の技術者の高齢化と長時間労働の抑制が課題。

編集部 社会のインフラを担う会社として、課題はありますか。

本庄 協力会社の技術者の高齢化です。夜中、しかも危ない仕事だということで、募集してもなかなか若い人の応募がありません。入社してもすぐ辞める人もいます。ですから、先々のマンパワー不足の問題はありますね。熟練の技術者が定年で辞めても若い人がいない。そうかと言って外国人をというわけにはいかない仕事です。

ただ、鉄道電気工事関係は、けっこうまとまった休みが取れます。鉄道会社は、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆は工事をしません。工事をして万一何かトラブルが起こって、電車を止めてしまうと大変ですからね。

長時間労働抑制の課題もあります。責任が重くなると、どうしても早く上がることができません。特に年度末の12月から2月は工事が集中し、休めない時期が続きます。技術者の体がいちばん大切ですが、任された仕事はこなしていかなければ

せん。社会的なインフラなので、役目を果たしていく使命があります。その中で、どのように長時間労働を抑制するかが今後の課題ですね。

編集部 会社として技術者のために行っていることはありますか。

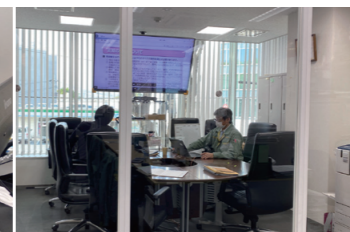
本庄 会社の建物の半分は技術者が寝泊まりや仮眠をするところ。工事が続く時期に通勤しなくていいようにしています。福利厚生の一環と言えるかは分かりませんが、最高レベルのカプセルベットを導入し、大浴場や洗濯乾燥機も設置しています。独身寮も本社ビル内にあります。社員食堂には業者を入れて、朝昼晩の3食を提供。業界トップクラスの待遇を心がけています。

編集部 技術者の採用はどうされていますか。

本庄 工業高校を回っています。私も何度か高校に行って



訪問時「ちょっとメール返信する間待ってもらえますか？」と本庄さん、お忙しい中すみません。後で案内していただく中、お隣のブースでは「今、研修をしているんです」との事。



応募要項を見ましたけれど、電気科の生徒50人に200社、300社の求人があるのです。17歳、18歳ではその中からなかなか就職先が選べない。親御さんは、世界に冠たる有名企業が並んでいたら、そこへ就職

をということになります。ですから、まず工業高校の先生に、大雄電設工業がどういう会社か分かっていただく努力をしています。数年前に長崎の工業高校から、一人入社してくれて、それをきっかけに先生も弊社のことを理解していただけるようになり、おすすめベスト20に入れてくれるようになりました。今では、「大雄電設工業は、仕事はきつけれどやりがいのある仕事だよ」と、悩んでいる生徒さんに言ってくれるようになりました。ただ、技術者には高いレベルが求められます。JR東日本は特にアウトソーシングが進んでいますので、本来JR東日本の社員がやるような仕事も弊社の技術者が担当します。現場の技術者の責任は重大です。本当に集中力が必要でストレスがかかる仕事です。

東日本大震災の鉄道復旧にも貢献。

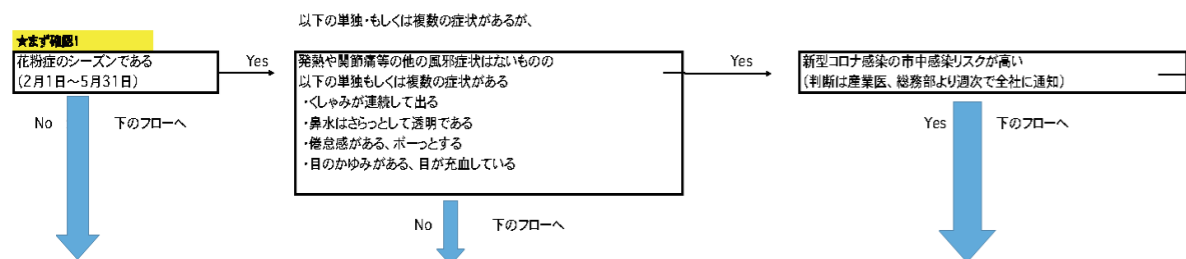
編集部 東日本大震災では鉄道も被害を受けました。当時はどうでしたか。

本庄 2011年の3月下旬には、協力会社を含めて、50人から80人規模で、2、3か月泊まり込みで鉄道電気工事をを行いました。5月の連休には、とりあえず青森まで新幹線を走らせようと、東北新幹線を復旧。土砂で埋まった宇都宮の在来線の鉄道電気工事も担当しました。常磐線はようやく2020年3月に全面開通できました。中には、防護服を着て線量計を付けながらの作業もありました。

■新型コロナウイルス症状接触フォローチャート(一部)

大雄電設工業株式会社の新型コロナウイルス対策マニュアル。フローチャート式で発熱などの症状が出た人、またその接触者だった場合など、どういった処置・処遇をすれば良いかが、日にちに明確に定められている。保健所の指示だけでは十分に対処出来ない中、様々な情報をざりチャート化する事で、迷わず対処ができリスクを減らす事に役立っている。

- フローチャート改定の前提(これまでの知見等による)
- 感染してから、4.5日で発症する
 - 発症前2日前からウイルスは外に出る(人に感染させる)
 - 会社PCR検査は、ウイルスが口の中に多くないと、検知しない
 - 風邪の症状とは、以下の単独もしくは複数の症状をいう
発熱、悪寒、頭・喉・関節痛、倦怠感、くしゃみ、咳、痰、鼻水・鼻詰まり



行旅日	△2日目	△1日目	風邪症状0日目	1日目	2日目	3日目	4日目
東京 A			風邪症状	会社PCR	会社PCR検査(陽性)	会社PCR検査(陽性)	会社PCR検査(陽性)
東京 B				会社PCR	会社PCR検査(陽性)	会社PCR検査(陽性)	会社PCR検査(陽性)
東京 C				会社PCR	会社PCR検査(陽性)	会社PCR検査(陽性)	会社PCR検査(陽性)



インタビュー後本庄さんに施設を案内いただいた。①工事本部や仮眠室、食堂などの入った本社別棟、敷地内に鉄塔が有る。②架線を張る作業は、リフト付の特殊車両「軌陸車」で行う。普通の道路を走行でき、踏切でクルマの下に内蔵した回転盤を降ろして、90度回して線路に入り、線路上を電車のように車輪で走って現場にアクセスする。③工事本部フロアには安全を祈願する神棚と社員の飼う亀や熱帯魚の水槽なども④格安の社員食堂、土日と月曜日の朝食はないが、その他は1日3食、栄養バランスを考慮したメニューが並ぶ。⑤シャワールーム、ランドリールームや浴場も完備、浴場はちょうど仕事上がりの方入浴中でした。⑥仮眠用のカプセルルームは個人毎に有る⑦社員寮のワンルーム。都内一等住宅地に格安の家賃で入居できる。

新型コロナウイルス感染防止に積極的に取り組む。

編集部 新型コロナウイルスの感染が続いていますが、会社として感染対策はどうされていますか。

本庄 弊社には毎晩約40人が寝泊まりしていますが、そんな中で感染者が出てしまったらクラスターになる危険性があります。予定している鉄道電気工事にも支障が出ますので、非常に神経を使っています。

感染してから5日目に発症する、その2日前には人にうつし始めるというのを前提に、友人の医者に確かめてもらいながら独自の対策マニュアルを作りました。また、PCR検査キットを購入して、誰かに新型コロナウイルスのような症状が出たら、すぐPCR検査を行えるようにしています。産業医(クリニック)の先生も、「怪しかったらすぐ連絡を下さい」と協力を申し出てくれました。

誰かに症状が出たら、発症する2日前、前日、当日一緒にいた人を特定し、その後はマニュアルに則って、それぞれの隔離期間や仕事をしていい期間を決め、PCR検査を行います。風邪や花粉症の場合もありますので、いろいろなパターンをマニュアル化しました。

新型コロナウイルス感染対策については、法人会青年部会の富澤さんからPCR検査キットを教えていただき、さらに社内の除菌対策などもアドバイスしてもらい、非常に助かりました。

編集部 感染者は出ませんでしたか。

本庄 残念ながら、年末に3人感染者が出ました。すぐ関係者全員がPCR検査キットを使い、検査を行っている研究所に持ち込み、当日に本人にメールで結果が届きました。また、契約している産業医クリニックでもPCR検査を行いました。念には念を入れてPCR検査キットと外部の検査機関の2回検査を行っています。感染は仕方ないのですが、被害を最小限にするためです。社員で家族が濃厚接触者になった人がいたのですが、保健所はしばらく様子を觀ましようPCR検査をしてくれませんでした。万一その社員が感染していたら、社内で感染が拡大してしまいます。保健所の指示に従うだけでは済まない業務ですので積極的な対策を行いました。

事業にも大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス。

編集部 鉄道会社は新型コロナウイルスの影響が大きいと思いますが、工事にも影響はありましたか。

本庄 これまでは毎年、安定した数の工事の発注がありましたが、新型コロナウイルスで様変わりしました。弊社始まって以来、鉄道電気工事の受注が厳しくなっています。コロナ禍で鉄道会社本体もグループの百貨店やホテルも減収。収益が

減れば当然支出を抑えます。2021年度は安全のための設備工事もすぐに実施しなくても大丈夫なものは先延ばしになりました。発注額は例年の3割から4割減です。弊社は1、2年このような状況が続いても何とかできる体力があります。しかし、10人、20人の規模の協力会社は、雇用が守れるかも含めて影響が深刻です。厳しい受注環境が続いていますが、協力会社ともども踏ん張っていかねばならないと考えています。

法人会の役員を長年担当し、地域住民との交流も実施。

編集部 貴社と法人会との関わりについてお聞かせください。
本庄 弊社はかつて、全国的に鉄道電気工事を行っているJR直系の日本電設工業の一部でした。新宿作業所という事務所に80人が所属していましたが、その事務所が1958年に独立して40人で発足したのが大雄電設工業です。当時の所長の小山雄央さんが初代社長になりました。

1961年に本社を梅丘に移転。小山社長はユニークな方で、世田谷区議会議員も務めていました。ですから、地元とは強いつながりがあり、法人会の事務局も何年間か梅丘の本社の中にあったそうです。駅から近かったこともあり、協力させていただいたのだと思います。私は令和元年に就任した7代目の社長ですが、弊社には法人会や地域にできるだけ協力させていただくという伝統が脈々と受け継がれています。

編集部 本庄社長はどのような経緯で法人会の役員になられたのでしょうか。

本庄 私は2007年に弊社に総務部長として入社しましたが、前任者が法人会の源泉部会の会計や梅ヶ丘支部の会計を担当していました。大成出版社の松林さんが会長になられたときに、法人会をもっと手伝ってほしいと依頼されて、財務委員会の副委員長を拝受。公益社団法人に切り替わるときに、総務委員長だった田中さんが体調をくずされ急きよ後任となり、諸先輩方に教えていただきながら、2017年に副会長になりました。

法人会の活動以外にも、地域の皆様に弊社を知ってもらうために、お付き合いにも気を遣っています。新型コロナウイルスで2回中止にしましたが、餅つき大会を開催して近所の人に来てもらい親睦を深めています。また、地域のお祭りには協賛するようになっています。

編集部 最後に法人会の会員にメッセージをお願いいたします。

本庄 よやくワクチン接種が始まりました。変異種の感染拡大など、まだまだ予断を許さない状況ですが、新型コロナウイルスが早く収束することを願っております。法人会の中にも、今回の影響で厳しい経営環境に置かれているところがあると思いますが、ワクチン接種が進めば現状はきっと変わるはず。この苦難を協力し合って、共に乗り越えましょう。